

67 → 68

校友会が引き継がれます

校友会活動の引き継ぎが行われる時期となり11月10日（木）、立合演説会及び選挙が行われました。各候補者の公約を聞いていると、今の西部中学校をより良くしていこうという強い思いを感じ、第68期校友会への期待も膨らみました。

選出された新会長を中心として、伝統を引き継ぎ、新たな西部中を創り上げていこうとする生徒の姿に期待しています。

僕は会長としてやっていきたいことがあります。まず一つは、学校の特別行事で、最高の盛り上がりを見せることです。もう一つは、校内のあいさつの改善です。校内の友達どうしのあいさつを100%にし、そこから校外にも目を向けていけたらと思っています。よろしくお願いします。（新生徒会長）



人権について学ぶ

11月15日（火）、人権教育の授業参観が行われました。開かれた学校づくりを目指し、各学年、地域の方を講師に招き人権感覚を体験的に学ぶことができました。

「耳が聞こえない人は大変だな」昔はこのくらいしか思っていませんでした。だけど聴覚障がい者の方の話を聞いて考えが変わりました。聴覚障がい者の方は気付かれにくく、一人で困っていることが多いそうです。（中略）どんな人にも心があることを忘れずに関わりを持っていただけたいと思いました。（1年）



1年 聴覚障がい者の方から学ぶ



2年 人権擁護委員の方から学ぶ

段ボールの上にグループ全員ができるだけ長く乗れるようにするにはを考えた暑いけどみんなと肩を組み合いながら動かずにがんばったりして、その時間は団結できたような気がしました。みんなと一つのことをやるのは、心が一つになると思ったので、いい経験になりました。(2年)



3年 障がい者プロレスの方から学ぶ

やりたいことを見つけてそれに向かって進むことは、障がいがない人でも難しいことなのに、障がいという壁を乗り越えて好きなことを続けていることがすばらしいことだと思ったし、目指していきたい姿がだと思いました。(3年)

また、本年度は、PTA講演会も同日開催で行われました。講師は、グレート☆無茶さん。あの信州プロレス団体を立ち上げた方です。

演題は、「夢は叶う!」。ご自身の生き立ちや夢を叶えるまでの過程を、楽しく分かりやすく話してくださいました。

『ゴール(夢)への道は、一つだけではない!』

『世の中に“絶対”は、命と時間の2つ。刻々と過ぎていく

時間を無駄にせず、やりたいことは、今(今日)やろう!』

『好きな言葉は、

“過去と他人は変えられないけれど、未来と自分を変えられる”』

生徒や保護者の方々の心に残る多くの言葉や内容を残して、講演会は終わりました。自分のこと・級友のことを含め、“人権”について学んでいる11月。秋の深まりとともに、人権感覚の深まりも感じる西部中学校です。



(前略)「時」も「命」も一緒に減っている。こんな考え方をしたことが無かったのでとても心に残っています。私は、こんな説得力のある奥の深い話しを聞いたことはありませんでした。「命」と「時」を大事にしながらかの人生を送っていきたくと思います。(1年)

死ぬまでの時間がスタートしているとか、カウントダウンが始まっているとか言われた時は怖かったです。でもやり残してしまったり後悔してしまうようなことはないように、全力で挑みたいと思えることができました。自分から積極的に行動することで悔いのない人生を送れるのでそうしたい!(後略)(2年)

一番印象に残っているのは“過去と他人は変えられないけれど、未来と自分を変えられる”という言葉です。受験を控えている今の3年生にぴったりな言葉だったから心に残っているんだと思います。(中略)私もあんな風に楽しく生きたいと思うことができました。とても明るく、前向きになれる楽しい講演会でした。(3年)

全国学力・学習状況調査の結果と対応

3学年で実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校は、国語Aは、全国・県平均を上回っていました。国語B、数学A・B（A＝主として知識，B＝主として活用）は、いずれも全国・県平均を下回りました。国語の「文脈に即して漢字を正しく読む」「語句の意味を理解し文脈の中で適切に使う」設問などは、正答数が全国・県平均を上回っていました。

一方、課題としては、次のことがありました。

- 【国語】 ・「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の文章を書く」設問では、全国・県と同様に正答率が低く、無解答率が高いことから、根拠を明確にして自分の考えを文章化する力が不足していることが伺えます。
- 【数学】 ・「加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明する」「与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明する」設問では、正答率が低く、条件を用いて説明する力（文章化する力）が不足していることが伺えます。
- 【生徒質問紙】 ・自尊心が低い。
・共感的に理解したり、折り合いをつける力が低い。

以上のことから、国語や数学の授業だけでなく、他教科や様々な教育活動の中でも高めていく必要があり、全職員で以下のことを大切にしながら取り組んでいきます。

1 「わかる」「できる」を味わえる授業づくり

授業の中で「わかった」「できた」を実感することは、学習意欲や自尊心が高まることにつながります。生徒一人ひとりが、自分の考えを発信（言語化や文章化など）しながら、達成感や満足感を味わうことができる授業づくりを心がけ、指導方法・授業計画・教材のあり方などを見直していきます。

2 友と学ぶ集団づくり

授業は、生徒と教師が作り深めていくものです。「学習規律（わたしたちの学習、西部中学校五訓）」や「学習の雰囲気」を大切にしながら、仲間と共に学びを深められるよう授業の中にグループやペアによる話し合い活動を入れたり、多様な意見を聞き合ったり折り合いをつけたりする経験を積み重ねていきます。

3 個に応じた指導

主体的に学習しようとする生徒のニーズに対応し、学習時間の確保、学習相談の時間を更に充実させていきます。また、生活ノート（自ら啓く）の充実を図り、自分の考えを文章化する力の育成に努めます。

非違行為防止に向けて

教職員による不祥事がニュースに出ています。本校職員も非違行為防止に向け、学習会や研修会を重ねております。内容としましては、

◇飲酒運転をしない（させない）ために、自分（職場）のできることを。

◇わいせつ行為の事例から、自分（職場）の中の心の隙間を考える。

等を、職員会議などを利用し定期的に行っております。

また、毎月初日には、「わたしの心と行動チェック」を実施し、自分自身でまた職場内で行動の振り返りを行っております。

生徒の健やかな成長のため、また、保護者や地域の皆様に信頼していただける開かれた学校を目指し、これからも職員一丸となって努めてまいりたいと思います。